

平成30年度

## 富士市歯科医師会学術講演会

## 第4回 歯科医療従事者のための肝炎講座

## ご案内

日本は世界的にみて肝がんの多発地域です。毎年約3万人が肝がんで死亡しています。肝がんの主な原因はB型肝炎ウイルスやC型肝炎ウイルスの持続感染です。近年、治療効果の高い直接作用型抗ウイルス剤が登場し、C型肝炎の治療は飛躍的に進歩しました。ウイルスを容易に排除できるようになりました。

一方、肝炎ウイルスは肝臓以外にも病気を起こします。こうした「肝外病変」として、扁平苔癬やシェーグレン症候群が知られています。

このような背景の中で、歯科医師は常に安全な歯科治療を提供する必要があります。日常臨床で遭遇する患者の基礎疾患をどのように捉え、どうやって歯科治療を進めるべきかを考えることはとても重要です。このたび日常臨床で役立つための「肝炎講座」を企画いたしました。是非、ご参加くださいますようお願い申し上げます。

無料



## 日時・場所

2018.7.28 土 14:30-16:30 富士市歯科医師会館

## プログラム

演者 長尾 由実子 (佐賀大学医学部臓器相関情報講座 教授)

歯科医師が知っておきたい肝炎ウイルスの基本  
～診療戦略に向けて

## 対象

歯科医師・その他の医療従事者

## 主催

一般社団法人 富士市歯科医師会

7月28日は

WHOと厚生労働省が

定めた

「世界肝炎デー」

「日本肝炎デー」